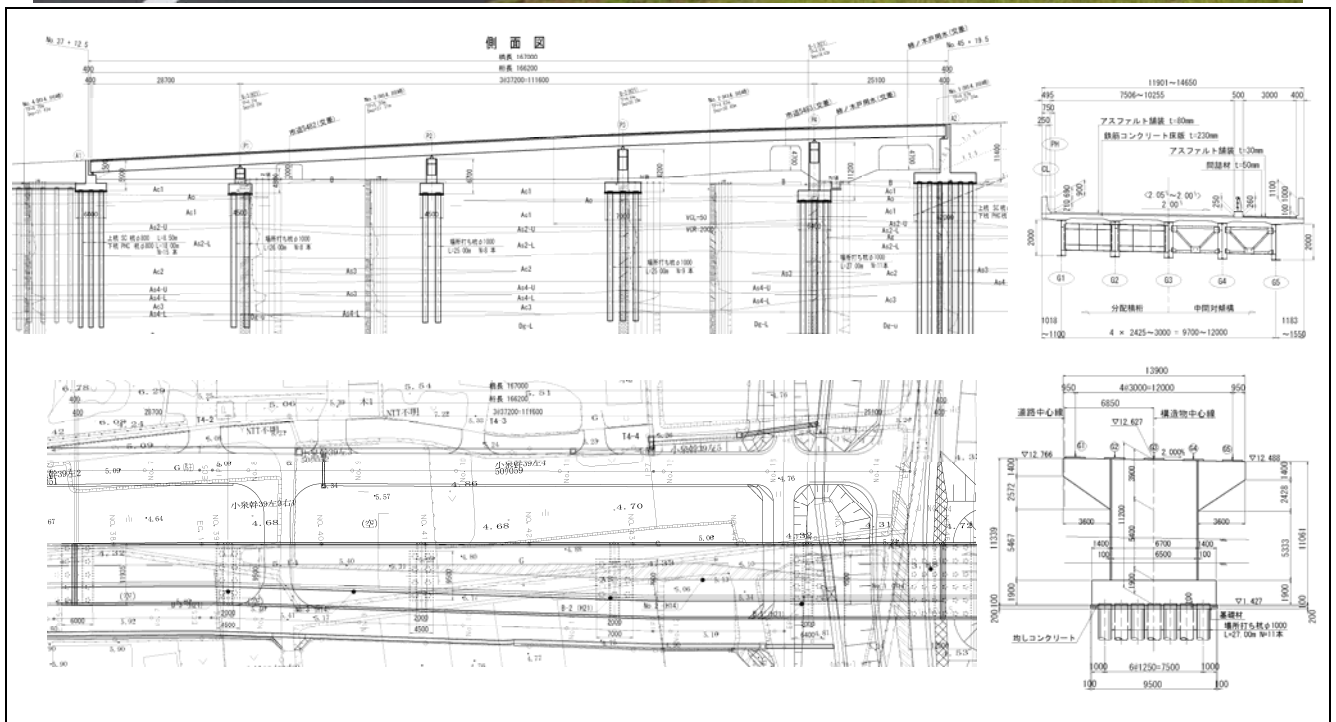


大垣高架橋 (平成 20 年度設計)



Memo: 一般県道 大垣江南線が一級河川揖斐川を横断するための揖斐川新橋へのアプローチ高架橋である。上部構造は、軟弱地盤における基礎工への負担に配慮し、鋼 5 径間連続桁橋を採用し、支承には分散支承を用いた。下部構造については張出式橋脚とし、梁と柱の厚さを変えることで梁の量感を小さくし、トップヘビーな印象の解消と、梁と柱の鉄筋の交錯部の構造性、施工性に配慮した。基礎工としては水平力が大きい橋台には SC 杭を採用することで、杭本数の低減による経済性を追求した。

橋梁諸元

企業者	岐阜県 大垣土木事務所	施工場所	岐阜県大垣市大村地内
橋種	B活荷重	床版	RC床版 t = 230mm
橋長 (m)	167.00m	塗装	耐候性鋼材裸使用
支間割 (m)	23.20m+3@37.20m+25.10m	架設工法	ベント併用クレーン工法
幅員 (m)	7.50m (車道) 3.00m (歩道)	上部構造	鋼 5 径間連続桁橋
桁高 (m)	2.00m	下部構造	逆 T 式橋台・張出式橋脚
鋼重 (t)	405	基礎構造	橋台：SC 杭 + PHC 杭 橋脚：場所打ち杭
鋼種	SMA 490W	備考	—